

# 平成 29 年度 事業報告書

## I 会務報告

### 1. 会員の状況について

	正 会 員	準 会 員	計
今期末会員数	2, 8 7 3名	0名	2, 8 7 3名
前年度末会員数	2, 8 6 1名	0名	2, 8 6 1名
増 減	1 2名	0名	1 2名

支部別会員数は添付諸表資料 1 のとおり

### 2. 賛助会員について

#### 1) 団体など

北海道農業共済組合連合会	500,000 円
北海道農業協同組合中央会	100,000 円
ホクレン農業協同組合連合会	350,000 円
(一社) ジェネティクス北海道	100,000 円
(株) 高橋動物病院	100,000 円
酪畜支援センター	100,000 円
(株) 札幌夜間動物病院	200,000 円

#### 2) 個人

なし

### 3. 名誉会員の推薦について

平成 30 年 3 月 14 日、第 6 回理事会において、各支部長から推薦のあった下記の 7 名の会員（平成 30 年度に 79 歳となり、本会在籍 20 年以上の会員）を名誉会員とすることとし、平成 30 年度の地区獣医師会総会において名誉会員証を授与することとした。

中田 寛（石狩）、長瀬 勝義（空知）、笹森 弘志（上川）、田代 満春（上川）、  
上田 義信（釧路）、村井 博明（オホーツク）、小峰 勉（宗谷）

### 4. 役職員の異動について

#### 1) 役員等

平成 29 年 6 月 20 日、第 5 回定時代議員会および引き続き開催された第 3 回理事会において新役員が選任され、同日就任した。

#### 2) 職員

平成 29 年 4 月	菅野 一敏	(技術主幹)
平成 29 年 6 月	堀田 哲也	(会館管理)
平成 29 年 7 月	森 清一	(参与、非常勤職員)

平成 29 年 7 月 松尾 豊 (会館管理、退職)

## 5. 日本獣医師会特別委員会委員、職域別部会委員会委員 (本会分)

### 1) 特別委員会

One Health 推進特別委員会 (副委員長)	会長	高橋 徹
狂犬病予防体制整備委員会 (委員長)	会長	高橋 徹
AMR 対策推進検討委員会 (副委員長)	副会長	田村 豊

### 2) 職域別部会委員会

#### ◎常設委員会

学術・教育・研究委員会	理事	滝口満喜
産業動物臨床・家畜共済委員会 (部会長)	副会長	西川治彦
産業動物臨床・家畜共済委員会	理事	岡本真平
小動物臨床委員会	理事	高良広之
家畜衛生委員会	理事	山口雅紀
公衆衛生委員会	理事	横山敦志
動物福祉・適正管理対策委員会		黒川明美 (札幌市)
総務委員会	専務理事	菅野一敏

#### ◎個別委員会

獣医師生涯研修事業運営委員会	苅和宏明 (北大)
野生動物対策検討委員会	武田忠義 (北海道)
女性獣医師支援対策検討委員会	岩村 舞 (NOSAI 林-ツク)

## 6. 代議員会・理事会の開催について

### 1) 平成 29 年度 (第 5 回) 定時代議員会

日 時 : 平成 29 年 6 月 20 日 (火)

会 場 : 北海道獣医師会館 会議室

#### 議 事

議案第 1 号	平成 28 年度事業報告および財務諸表について
議案第 2 号	平成 29 年度事業計画および収支予算について
議案第 3 号	平成 29 年度会費等について
議案第 4 号	役員の報酬等に関する規程の改定について
議案第 5 号	福利厚生規程の改定について
議案第 6 号	平成 29 年度役員報酬について
議案第 7 号	役員の選任について

### 2) 理事会

#### 【第 1 回】

日 時 : 平成 29 年 5 月 24 日 (水)

会 場 : 北海道獣医師会館 会議室

## 議 事

### 〈報告事項〉

1. 職務執行状況報告について
2. 地区獣医師会総会の開催概要について
3. 日獣関係諸会議について
4. その他諸会議について
5. 傷病鳥獣等保護受託業務について
6. 次期北獣事務局体制について

### 〈議決事項〉

1. 北獣次期役員候補者の選定について
2. 平成 28 年度事業報告および決算の承認について
3. 平成 28 年度決算監査結果について
4. 平成 29 年度会費などの額について
5. 平成 29 年度役員報酬について
6. 北獣寄附金等規程の制定と賛助会員の承認について
7. 北獣部会規程の改定について
8. 北獣会誌投稿規程の改定について
9. 支部事務局長の変更について
10. 代議員会における書面等による議決権の行使について

### 〈協議事項〉

1. 日獣役員および部会委員の推薦について
2. 各部会委員、北獣会誌編集委員、学会役員の交代について
3. 新規事業について
4. その他

## 【第 2 回】

日 時：平成 29 年 6 月 20 日（火）

会 場：ホテルヤマチ

## 議 事

### 〈報告事項〉

1. 地区獣医師会総会の開催概要について
2. 日獣関係諸会議について
3. 狂犬病予防注射事業に係る事故の発生状況について
4. 医師会との連携シンポジウム開催報告について

### 〈議決事項〉

1. 支部長、支部事務局長の承認について

### 〈協議事項〉

1. 平成 29 年度（第 5 回）定時代議員会の開催について
2. 役員補欠選任立候補の受付結果について
3. 当面の事業推進について

#### 4. 今後の予定

##### 【第3回】

日 時：平成 29 年 6 月 20 日（火）

会 場：北海道獣医師会館 会議室

議 事

<議決事項>

1. 会長、副会長、専務理事の選任について
2. 役員報酬等の執行について

##### 【第4回】

日 時：平成 29 年 7 月 26 日（水）

会 場：北海道獣医師会館 会議室

議 事

<報告事項>

1. 北獣関係
2. 日獣関係

<議決事項>

1. 第 68 回北海道獣医師大会提案事項について
2. 各部会委員・北獣会誌編集委員の委嘱について
3. 特別委員会の設置と委員の委嘱について

<協議事項>

1. 平成 29 年度 第 68 回北海道獣医師大会・北海道地区学会の開催について
2. 平成 31 年度以降北海道獣医師大会・地区学会の開催について
3. 平成 30 年度第 6 回代議員会（案）について
4. 北獣 70 周年記念事業（案）について
5. 賛助会費、寄付金の募集について
6. 動物愛護行事等への協賛について
7. 会員名簿の発行について
8. 今後の予定
9. その他

##### 【第5回】

日 時：平成 29 年 12 月 13 日（水）

会 場：北海道獣医師会館 会議室

議 事

<報告事項>

1. 11 月末職務執行状況について
2. 中間監査の結果について
3. 北獣諸会議等開催状況について

4. 日本獣医師会関係他について
5. 第 68 回北海道獣医師大会・地区学会について
6. 平成 28 年度決算書の変更について
7. 平成 29 年度狂犬病予防注射事故発生状況と対応について
8. 北獣寄附金について
9. 総選挙結果について
10. 秋の叙勲について

<議決事項>

1. 補正収支予算書の承認について
2. 変更認定申請事項について
3. H30 年度事業計画及び収支予算について
4. 諸規程の改定について
5. 平成 30 年度大会・地区学会の開催について
6. 北海道獣医師会 70 周年事業について

<協議事項>

1. 定款の変更と会費規定の制定について
2. 庶務規程の制定について
3. 平成 30 年度北獣代議員会の日程について
4. 平成 31 年度以降の大会・地区学会の開催について
5. 日本獣医師会獣医学術学会年次大会について
6. 平成 30 年度事業について
7. 第 30 回世界牛病学会の対応について
8. その他

**【第 6 回】**

日 時：平成 30 年 3 月 14 日（水）

会 場：会 場：北海道獣医師会館 会議室

議 事

<報告事項>

1. 2 月末職務執行状況について
2. 北獣諸会議等開催状況について
3. 日本獣医師会関係他について
4. 公益法人認定申請事項の変更について
5. 70 周年記念誌編集について

<議決事項>

1. H30 年度事業計画について
2. H30 年度収支予算について
3. 定款の変更について
4. 会費規程の制定について
5. 北海道獣医師会へ共催依頼の承認に関する規程について

6. 北海道獣医師会旅費規程について
7. 北獣役員報酬規程について
8. 庶務規程の制定について
9. 北獣講習会運営規程について
10. 平成30年度北獣名誉会員の推薦について
11. 平成30年度（第6回）定時代議員会の開催について

<協議事項>

1. 会館建設特別委員会の開催報告について
2. 北海道獣医師会70周年事業について
3. 平成30年度以降の大会・地区学会の開催について
4. 平成30年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会について
5. 平成30年度事業について
6. 第30回世界牛病学会等の対応について
7. その他

3) 監査

平成28年度決算監査	平成29年 5月17日（水）	北獣会館
平成29年度中間監査	平成29年11月29日（水）	〃

4) 三役会議

第1回	平成29年 5月15日（月）	北獣会館
第2回	平成29年 7月18日（火）	〃
第3回	平成29年12月 5日（火）	〃
第4回	平成30年 2月26日（月）	〃

5) 事務局長会議等

役員・事務局長合同会議	平成29年 9月 6日（水）	北獣会館
事務担当者会議	平成29年11月 7日（火）	〃
事務局長会議	平成29年 3月 7日（水）	〃

6) 各部会、委員会等

役員候補者推薦管理委員会	平成29年 4月 6日（木）	北獣会館
小動物臨床部会	平成29年 4月19日（水）	〃
野生動物部会	平成29年 6月19日（月）	〃
北獣雑誌編集委員会	平成29年 4月26日（水）	〃
行政部会	平成29年 9月19日（火）	〃
国際交流協力部会	平成29年10月16日（月）	〃
会館建設計画検討特別委員会	平成30年 2月 6日（月）	〃
役員報酬審議委員会	平成30年 2月20日（火）	〃

## 7) 学会関係

獣医学術地区学会幹事会

平成29年6月30日(金) 北獣会館

## 7. 各種規程の制定および改定について

第5回代議員会にて

北獣役員の報酬等に関する規程の改定、北獣福利厚生規程の改定

第1回理事会にて

北獣寄附金等規程の制定、北獣部会規程の改定、北獣会誌投稿規程の改定

第5回理事会にて

北獣部会規程の改定、北獣職員給与規程の改定、北獣講習会運営規程の改定

第6回理事会にて

北獣共催の承認に関する規程の制定、北獣旅費規程の改定、北獣庶務規程の制定、北獣講習会運営規程の改定

## 8. 北獣会館の建設について

現北獣会館は、昭和53年に建設したもので、築後40年を経過しており、老朽化が進んでいるとともに、耐震性についても課題を抱えている現状にある。

平成26年度から理事会に建設計画検討特別委員会を設置し、本会創立80周年にあたる平成40年度を目処とした会館建替えに向けて協議している。平成30年2月の会館建設計画検討特別委員会でも会員の理解を深めることが最優先課題ととらえている。各支部長・地区獣医師会役員にも強く啓蒙し、一般会員の理解がなければ建設資金調達計画等の検討を進めることは不可能である。当面の対策として、新規賛助会員および寄附者の獲得を目指し、新規賛助会員3団体と、公益法人への一般寄附では法人2団体と7個人から寄附を受けた。

## 9. 弁護士との顧問契約について

札幌市内で法律事務所を開設している橋本智弁護士（橋本智法律事務所 Tel：011-272-1056）と顧問契約を締結し、会員の法律的な事案に相談対応できる体制を継続している。

## 10. 広報活動

情報化社会に対応し、本会ホームページ等による広報活動の充実強化が求められている。ホームページの全面的なリニューアルを契機に、会員への情報伝達の充実を図るとともに、一般市民を対象とした本会の活動紹介、動物病院の紹介等の充実強化に努めた。

## II 事業報告

### 公益目的事業1：獣医学術の振興・普及並びに人材の育成を図る事業

#### 1. 獣医学術北海道地区学会・北海道獣医師大会の開催

##### 1) 獣医学術北海道地区学会の開催

①平成29年度獣医学術北海道地区学会は9月7～8日、酪農学園大学において開催した。会員および会員外550名、来賓・関係機関、公開シンポジウム参加者など102名、合計652名の参加を得、石狩支部等道央3支部や学会幹事を中心とした会員の協力により整齊と運営された。

②7日午後、野生動物部会主催による市民公開シンポジウム「高病原性鳥インフルエンザの最新情報～家さん防疫と野鳥監視の現場から」が開催され、多くの先生方が参加された。

③一般の発表演題は産業動物獣医学会85題、小動物獣医学会52題、獣医公衆衛生学会24題、合計161題がエントリーされた。

④両日の昼休みには、協賛会社の協力のもと6会場でランチョンセミナーを多彩な内容により実施した。

⑤各地区学会長賞、北獣会長賞、奨励賞については、学会終了後に開催された審査会において慎重に審議され、次のとおり選定された。

#### 【平成29年度北海道地区学会優秀発表演題と発表者】

##### 1. 日本産業動物獣医学会（北海道）

###### 【北海道地区学会長賞】

「めん羊における線虫コントロール戦略 *Refusia* 取組事情」

○福本奈津子 川端圭佑 花村 瞳 稲葉朋子\* 加藤純規\*\* 萩野雅久 大野尚之  
山崎正人 増山 均 河野博英 廣岡俊行

(独) 家畜改良センター十勝牧場 \*現家畜改良センター鳥取牧場

\*\*現石狩ひつじ牧場

「子牛哺乳における発酵粉ミルク(FMR)作成と利用に関する研究」

○茅先 史 久保田 学 木村晃子 岡 由子 近藤 直 鈴木真生 佐々木瑛子  
西川晃豊 高尾 聡 河合孝弘 武田 章 竹内靖彦 古野尚志

NOSA I道東

「プロポフォルを用いた牛の全静脈麻酔法の検討」

後藤忠広 樋口 徹 井上 哲 佐藤正人

NOSA Iみなみ

「馬顆粒膜細胞腫に対するAMH診断基準値の設定」

○村瀬晴崇<sup>1)</sup> Siriwan Tangyuenyong<sup>2)</sup> 渡辺 元<sup>2)</sup> 佐藤文夫<sup>1)</sup> 松井 朗<sup>1)</sup>

羽田哲朗<sup>1)</sup> 南保泰雄<sup>3)</sup>

1) JRA日高育成牧場 2) 東京農工大

3) 帯畜大グローバルアグロメディシン研究センター



【北海道獣医師会会長賞】

「免疫ディスクを用いた新たなサルモネラべん毛抗原決定法の考案」

○藤原正俊：檜山家保

「重種馬の難産における全身麻酔下後肢吊り上げ整復法の検討」

○木村邦彦 本間 朗 曾根賢一郎 茅先秀司 谷 拓海 佐々木喜子 丹治雅輝  
向井琢磨

NOSA I 道東

【奨励賞】

「牛白血病ウイルス(BLV)感染ハイリスク牛における初めての子宮内感染直接証明」

○佐治木大和<sup>1)</sup> 今内 覚<sup>1)</sup> 西森朝美<sup>1)</sup> 岡川朋弘<sup>1)</sup> 永野昌志<sup>2)</sup> 小原潤子<sup>3)</sup>  
村田史郎<sup>1)</sup> 大橋和彦<sup>1)</sup>

1) 北大感染症学 2) 北大繁殖学 3) 道総研畜試

2. 日本小動物獣医学会 (北海道)

【北海道地区学会会長賞】

「犬腫瘍症例におけるリン酸トセラニブ投与の血管造影CTを用いた短期的評価」

○高木 哲<sup>1)</sup> 華園 究<sup>1)</sup> 細谷謙次<sup>2)</sup> 石塚友人<sup>1)</sup> 和泉雄介<sup>1)</sup> 星野有希<sup>1)</sup>  
金 尚昊<sup>2)</sup> 奥村正裕<sup>2)</sup>

1) 北大附属動物病院 2) 北大獣医外科学

「犬の蛋白漏出性腸症の予後因子解析：超音波検査所見の有用性の検討」

○大田 寛<sup>1)</sup> 賀川由美子<sup>2)</sup> 佐々木 東<sup>1)</sup> 森下啓太郎<sup>3)</sup> 滝口満喜<sup>1)</sup>

1) 北大獣医内科学 2) ノースラボ 3) 北大附属動物病院

【北海道獣医師会会長賞】

「猫の尿管閉塞に対するステロイドの治療効果について」

○藤塚淳史 山口由香梨 下元康生 小池勇太 前谷茂樹  
まえたに動物病院

「犬と猫の高悪性度リンパ腫予後因子としてのリンパ球-単球比の検討」

○田川道人<sup>1)</sup> 新坊弦也<sup>1)</sup> 大村 寛<sup>1,2)</sup> 松本高太郎<sup>3)</sup> 富張瑞樹<sup>3)</sup> 宮原和郎<sup>1)</sup>

1) 帯畜大動物医療センター 2) ほうせいアニマルクリニック  
3) 帯畜大臨床獣医学

【奨励賞】

「犬の心基底部腫瘍に対する放射線治療における過喚起誘発性無呼吸と強度変調回転照射法を用いた呼吸性移動対策」

○加藤 大<sup>1)</sup> 出口辰弥<sup>1)</sup> 細谷謙次<sup>1)</sup> 金 尚昊<sup>1)</sup> 石塚友人<sup>2)</sup> 華園 究<sup>2)</sup>  
高木 哲<sup>2)</sup> 星野有希<sup>2)</sup> 奥村正裕<sup>1)</sup>

1) 北大獣医外科学 2) 北大附属動物病院

「犬におけるピモベンダン注射薬の強心作用に対する有効性の評価」

○平 寛人 石川友駿 中嶋佑治 堀 泰智

酪農大伴侶動物医療学

### 3. 日本獣医公衆衛生学会（北海道）

#### 【北海道地区学会賞】

「と畜場における牛およびめん羊のカンピロバクター属菌の汚染状況調査」

○星 忠信 刈屋達也 清水俊一: 早来食肉衛検

「道内の飼育展示下鳥類および保護野鳥を対象としたハトトリコモナス原虫の感染実態調査」

○富川創平<sup>1)</sup> 渡邊有希子<sup>2)</sup> 齊藤慶輔<sup>2)</sup> 中村亮平<sup>3)</sup> 高江洲昇<sup>4)</sup> 藤本 智<sup>5)</sup>  
古林与志安<sup>6)</sup> 堀内雅之<sup>6)</sup>

1) おびひろ動物園 2) 猛禽類医学研 3) 旭山動物園 4) 元円山動物園  
5) 釧路市動物園 6) 帯畜大基礎獣医学

#### 【北海道獣医師会長賞】

「札幌市内動物病院スタッフにおけるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)保菌リスクとMRSA対策マニュアルの有効性」

○佐藤友美<sup>1)</sup> 臼井 優<sup>1)</sup> 前谷茂樹<sup>2)</sup> 田村豊<sup>2)</sup>

1) 酪農大衛生・環境学 2) まえたに動物病院

#### 【奨励賞】

「アオウミガメの血漿微量元素濃度を指標とした沖縄本島および八重山諸島のバイオモニタリング」

○小口綾香<sup>1)</sup> 大塚まりな<sup>1)</sup> 横江果林<sup>2)</sup> 能田 淳<sup>2)</sup> 亀田和成<sup>3)</sup> 世良耕一郎<sup>4)</sup>  
鈴木一由<sup>1)</sup>

1) 酪農大生産動物医療学 2) 酪農大衛生・環境学 3) 黒島研究所  
4) 岩手医大サイクロトンセンター

### 2) 第68回北海道獣医師大会の開催

①第68回北海道獣医師大会は9月7日(木) ホテルエミシアを会場に、日獣酒井健夫副会長・堺政人専務理事、北村直人日獣連盟委員長ほか多数の来賓を迎え盛会裡に開催された。

②大会では、小動物臨床部会提案として「ペットとの共生社会の拡充を目指して」、野生動物部会提案として「人、家畜および野生動物での感染症の発生・拡大リスク低減を目指して～One Health からの学術アプローチの進展～」の2提案を満場一致で決議した。

③大会に引き続き、前年度地区学会優秀発表表彰、北獣会誌投稿優秀論文表彰、狂犬病予防事業顕彰および学位(博士号)取得者顕彰を行った。

狂犬病予防事業顕彰者および学位取得顕彰者は次のとおり。

#### 狂犬病予防事業顕彰者

齊藤 博司(石狩) 北村 二郎(石狩) 中川 洋治(石狩) 駒澤 弘義(日高)

弘川 治喜(十勝) 小林 弘之(根室) 井口 孝子(留萌)

## 学位（博士）取得顕彰者

萩原 精一 北海道農業共済組合連合会

論文題目 : 乳牛の大腸菌性乳房炎の疫学的動態と予後決定因子および予後診断に関する研究

加藤 肇 北海道ひがし農業共済組合

論文題目 : 子牛の呼吸器病重篤化阻止対策として

澤口 (旧姓岩佐) 明代 釧路東部事業センター 浜中家畜診療所

論文題目 : 牛の薬物療法における経口経路の有用性に関する研究～ジクロフェナク経投与の薬物動態と臨床での有用性評価を中心として～

### 3) 第30回世界牛病学会 2018 札幌の開催について

第30回世界牛病学会 2018 札幌を下記のとおり開催する。組織委員長の本会理事でもある酪農学園大学田島教授とともに、本会からも三役等が委員会、部会に参画し学会の成功に向け全面的に協力している。

世界牛病学会は、牛の獣医学に関する国際学会として 1960 年に設立され、現在世界の 50 カ国が加盟している。学会は、2 年に一度、世界各地で開催され、毎回、60-70 カ国から 2,000-3,000 名の獣医師が参加しており、世界および開催国の牛獣医療の進歩に貢献している。

開催会場：札幌コンベンションセンター（札幌市白石区東札幌 6 条 1 丁目）

開催日時：2018 年 8 月 28 日（火）～9 月 1 日（土）

参加者数（想定）：約 50 カ国・地域 約 2,000 名（海外 1,400 名、国内 600 名）

主 催：第 30 回世界牛病学会組織委員会、日本獣医師会日本産業動物獣医学会

共 催：北海道獣医師会

## 2. 北海道獣医師会雑誌の発行について

獣医学術の振興・普及および諸行事の案内、活動報告等の情報提供の媒体として北海道獣医師会雑誌を毎月定期に発刊した（第 61 巻第 4 号～12 号および第 62 巻第 1 号～第 3 号）。また、会誌編集委員会において、前年度本会誌に掲載した学術論文から優秀なものとして次の 3 編を選定し、第 68 回獣医師大会において顕彰した。

### 平成 28 年度北海道獣医師会雑誌優秀論文表彰

産業動物獣医学部門

「釧路管内における牛レトロウイルスの分子疫学的解析および浸潤状況調査」

（短報）

秦 葉奈子

「血清糖度（Brix）値による子牛と子馬の受動免疫獲得状況」

（短報）

福本 奈津子

小動物獣医学部門

「犬の血液透析症例における体内尿素窒素変動量と平衡時標準化透析量検討」

（原著）

中島 永昭

### 3. 国際交流について

本会は相互の獣医学術の向上と交流を深め、互いに発展することを目的として、韓国の慶尚北道獣医師会と姉妹提携を結んでいる。昭和54年の訪韓以降、これまで数年間隔でそれぞれ6回訪問しあって交流してきた。25年に本会が韓国慶尚北道を訪問しており、来年度は北獣70周年記念に当たり、招聘の準備をしている。韓国において口蹄疫等の伝染病の発生あれば見送る。

### 4. 北海道医師会との学術協力連携について

高病原性鳥インフルエンザをはじめ多くの人と動物の共通感染症の流行制御への関心や食品の安全性確保に関する意識が高まる中、医師と獣医師が緊密に連携し、安全で安心な社会を構築することが求められている。

このような状況を受け、学術協力を推進する旨の協力書締結に基づき、薬剤耐性菌問題をテーマに北海道獣医師会も北海道医師会と連携シンポジウム等を開催した。

### 5. 技術向上に係る講習会の開催について

本部主催として小動物講習会、獣医公衆衛生講習会、管理獣医師講習会および野生鳥獣救護技術講習会を開催するとともに、支部主催により産業動物・小動物ブロック講習会、新技術講習会を実施した。4月16日（日）に北海道医師会館において「One Healthから見た薬剤耐性菌問題」に関する公開シンポジウムを開催した。また、地区獣医師会や関係団体の主催する講習会等に後援・協賛し、支援した。

開催状況は添付諸表資料3のとおり。

## 公益目的事業2：人と動物が共生する豊かで健全な社会の発展に貢献する事業

### 1. 狂犬病予防注射事業の推進について

1) 狂犬病予防注射事業は本会の主体となる公益目的事業として、各支部実施班の協力のもとで実施したが、その注射頭数は175,244頭（前年比4,209頭減）で、ここ数年減少傾向が続いている（支部別注射頭数は添付諸表資料4のとおり）。

これに対応するため、小動物臨床部会、行政部会連携により狂犬病予防注射実施率向上対策を検討し、その活動の一つとして、北海道、札幌市、動物愛護団体等と連携のもと札幌チカホ空間で狂犬病予防注射啓発イベントを開催した。

2) 狂犬病予防事業に係る事故について、ワクチンによる副反応事故についても、北獣狂犬病予防注射事故対策要領に沿って補償することとしている。平成29年度には犬の事故は死亡3頭、回復43件の報告があった。犬の事故は多くはアナフィラキシー反応だが、犬の飼養者個々にチラシ等で注意喚起するなど、きめ細かい対応がなされ、それぞれ支部実施班で適切に対応された。なお、死亡例は注射直後の発症であり、アナフィラキシーショックが疑われるが、剖検出来なかったことから確定には至っていない。

3) 狂犬病予防注射業務に永年にわたり尽力された7名の会員に対し、北海道獣医師会長表彰を行い、その功績を称えた。

4) 現状の狂犬病ワクチンは1バイアル10ドース分であることから、バイアル開封後の日数経過等により廃棄を余儀なくされる。ワクチンメーカーに対し、1バイアル1ド

ース製品の開発、供給を要請している。なお、このことは日獣の狂犬病予防体制整備特別委員会でも検討され、同様の要請がなされている。

## 2. 動物愛護の推進について

1) 北海道から委託を受け実施している野生傷病鳥獣保護業務について、会員動物病院などの協力を得て 66 病院、286 頭羽（前年比 68 頭羽減）の傷病鳥獣の診療、救護費用を補填した。

また、野生動物部会の先生方の協力を得て、これら野性傷病鳥獣の診療技術向上のため技術講習会を札幌市（円山動物園）において開催した。札幌市では円山動物園において、一般市民を対象にヒグマと鳥インフルエンザをテーマに、また、釧路市ではまなぼつと幣舞において、高病原性鳥インフルエンザに関する演題 4 題の野生動物講演会を開催した。

2) 同じく北海道から委託を受け実施している所有者の判明しない犬猫などの診療、保護委託業務では 58 病院、404 頭（前年比 50 頭増）の保護・診療費用の一部を補填した。

札幌市（札幌小獣が受託）、旭川市、函館市においても、それぞれ市からの受託により同事業を実施し、それぞれ 13 病院 39 頭、5 病院 5 頭、1 病院 1 頭の保護治療を行った。

3) 8 月札幌市内デパートにて開催された小学生を対象にした仕事体験イベントの「夏休み！こども体験アカデミー」に出展した。これにより、約 180 名のこども達と付添いの父母・祖父母が動物愛護や獣医師の仕事に対する理解を深めた。

## 収益事業 1：不動産賃貸事業

### 1. 所有地の貸付け

本会が発寒に所有する土地（670m<sup>2</sup>）を駐車場用地として（株）コラボに貸付けした。

### 2. 所有建物の貸付け

北獣会館の事務室スペースは家畜畜産衛生指導協会、さっぽろ獣医師会、札幌市小動物獣医師会、日本馬事協会北海道事務所に貸付けするとともに、会議室は各種会議、研修会等に貸付けを行った。

## 収益事業 2：共同購入事業

会員が業務上必要とする各種様式印刷物や診断薬を一括購入し、斡旋販売した。

## その他事業 1：福利厚生事業

「福利厚生規程」にもとづき、病気見舞金、弔慰金および生花をそれぞれ添付諸表資料 5 のとおり贈呈した。

## その他事業 2：受託事業

### 1. 狂犬病予防注射済票交付事業

道内 176 市町村市から委託を受け、狂犬病予防注射に従事する会員が、市町村にかわり、狂犬病予防注射を受けた犬の飼養者に対し、狂犬病予防注射済票の交付を行った。飼養者が居住していない市町村で狂犬病予防注射を受けた場合、注射実施者、責任者

や各支部事務局の協力により、狂犬病予防注射済証を当該自治体に送付する事業を実施した。

## 2. 犬の登録及び鑑札交付事業

道内6市から委託を受け、狂犬病予防注射に従事する会員が、狂犬病予防注射時に市町村に代わり犬飼養者の便宜のため犬の登録受付及び鑑札の交付を行った。

## 3. 国際交流事業

新規事業の獲得には至っていない。

## 4. 動物愛護週間における啓発活動

札幌市小動物獣医師会が主催する「人とペットの暮らし広場2017」、江別市小動物開業獣医師会が主催する「2017動物愛護フェスティバルinえべつ」、胆振獣医師会が主催する「胆振動物愛護フェスティバル」等の行事に協賛するとともに、日本獣医師会が主催する「動物感謝デーin Japan 2017」に協賛し、駒沢オリンピック公園で動物愛護思想の普及啓発に努めた。

## 5. 海鳥等保護対策事業

天売島において野良ネコが増加し、この影響で希少な海鳥が激減していた。この海鳥保護のため、羽幌町等からの委託を受け、不妊去勢手術、馴化、譲渡等で野良ネコを減少させる事業を実施し、環境省、道庁、羽幌町、本会、北海DOぶつネット等による「人と海鳥と猫が共生する天売島」連絡協議会（会長：高橋 徹北獣会長）を立ち上げ関係機関連携のもとに活動の成果が見られた。野生ネコも減少している。海鳥の確認は従来までにはほど遠いが、明らかに増加した。